12 近代街路樹発祥の地

1867(慶応3)年頃、 開港場・横浜の馬車 道では、美しい景観 づくりのため、各商 店により柳と松の街 路樹が植えられた。 近代的街路樹の先駆 である。



B鉄の橋

イギリス人土木技師 R·H·ブラントンの 設計により、1869 🚛 (明治2)年、日本で 最初のトラス構造の 鉄橋に架け替えら れ、「かねのはし」と 呼ばれた。



⑩ ブラントンと横浜、 我国最古の公園

望んでいる。

1862(文久2

年、岡倉天心は

の地に開業

ていた商館

れた。日本美術

石川屋に生ま

1868 (明治元) 年、政府の招へいによ

り、イギリス人土木技師 R・H・ブラン

トンが来日。日本沿岸各地で灯台を建

設する一方、横浜公園や日本大通りの

設計など、横浜の近代的なまちづくり

像があり、日本大通りとその先の港を

に足跡を残した。横浜公園には彼の胸

14 吉田橋関門跡

開港直後、開港場への出入り口として、

門が設けられ、開港場の治安を図った。

関門を境に海側を関内、陸側を関外と

こに吉田橋が架けられた。橋には関

モニュメント「煌(きらめき) 1998 (平成10)年の 横浜ベイスターズの 優勝・日本一を記念 」た碑で、当時の選 手たちの手形が埋め

碑が「ベイスターズ通り」の愛称の由来である。

● 横浜ベイスターズ優勝記念

● 岩亀楼の石灯籠

横浜公園一帯は、1856 (安政3)年に埋め立てら れ、太田屋新田と呼ばれ ていた。開港とともに、さ らに埋め立てられ、港崎 町となった。その一画に 港崎遊郭が作られ、国際 社交場として栄えた。



18 横浜町会所跡 1874(明治7)年、貿易商の集会所とし て町会所が建設された。石造2階建て で屋上に塔があり、「時計台」の愛称で 親しまれた。所内には後に横浜商工会 議所となる前身組織が設立された。



② 中消防署開設の地 1919(大正 8)年、

19 岡倉天心生誕の地

常設の消防署とし て第二消防署(現 在の中消防署)が 開設された。この 付近では「消防救

欧米諸国との貿易

が始まる中、内海

兵吉の[富田屋]、

打木彦太郎の元町

「ウチキパン」なと



同倉天心生証之地

急発祥の地」の碑や「旧居留地消防隊地 下貯水槽」も見ることができる。

② 近代のパン発祥の地

の振興に努め、東京美術学校(現在の東

京藝術大学)の設立に尽力した。

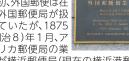
② ホテル発祥の地

1860 (万延元) 年、オ 🮆 ランダ人船長(・・・・ フナーゲルが開業し た日本初の近代ホテ ル[ヨコハマ・ホテ) 」が、ここにあった シーボルト親子も滞 在したという。



② 外国郵便創業の局

郵便制度ができた 当初、外国郵便は在 日外国郵便局が扱 っていたが、1875 (明治8)年1月、ア メリカ郵便局の業



務が横浜郵便局(現在の横浜港郵便局) に移管され、日本政府の所管となった。

1872年(明治5年) 横浜一新橋間鉄道開業

1889年(明治22年) 横浜市制施行

1876年(明治9年)横浜公園(当時:彼我公園)が開園

1870年(明治3年) 日本最初の洋式公園である山手公園が開園

のパン屋が誕生。 この地区で、現代日本の日常生活に根付 くパン食文化が始まった。

24 神奈川運上所跡 1859(安政6)年、開 港に伴い、神奈川運 上所が設けられた。 現在の税関業務や外 交業務等など、神奈 ||奉行所の中で最も 主要な仕事を受け持

っていた。



中区マスコットキャラクター スウィンギー

● 鉄道創業の地

1872(明治5)年、イギリス人技師E・ モレルの尽力で横浜-新橋間に日本最 初の鉄道が開通した。当時の横浜駅は、 今の桜木町駅辺りにあった。駅長室跡 を記す銘板が地下道入口壁面にある。



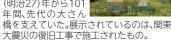
4 旧税関事務所遺構

1914(大正3)年築、 レンガ造り3階建て のゴシック様式の建 物であったが、関東 大震災で焼失した。 赤レンガパーク整備

工事の際に発見され、当時最新であったガ ス暖房や雷気照明が完備されていた。

6 101年間旧大さん橋を支えた 明パネルになる。 螺旋杭

桟橋を支えるため、 人力で海底にねじ込 まれた螺旋杭。1894 (明治27)年から101 年間、先代の大さん



⑦ 生糸貿易商·中居屋重兵衛店跡

中居屋重兵衛(本名:黒岩撰之助)は、 開港時の横浜で活躍した群馬県嬬恋 村出身の生糸貿易商人。その取引量 は、全輸出生糸の半数を超えていた。 当時、ここには「あかがね御殿」と呼ば れる豪壮な店があった。



9 日本で最初のガス灯

1872(明治5)年、高島嘉右衛門らが設立 したガス会社「日本ガス社中」により、馬車

道から本町通りにかけて、





明治末期の馬車道が

本人で初めて、ア1 スクリームを「あい すくりん」の名称で 販売したところ、全 国に広まった。

大正時代頃、陸上



区八幡橋際にあったもの。県立歴史博物 館入□前道路にもレプリカがある。

2 港一·二·三号橋梁

説明文にあるQRコードを読み込むと、解説動画が流れるよ!

は、新港ふ頭へ 向かう貨物線が - 号橋梁は、そ の鉄橋で、三号



橋梁は、近くの大岡川橋梁から一部を移築 したもの。いずれも貴重なトラス橋である。

3 旧横浜港駅プラットホーム

大正から昭和の海外航 路が華やかな時代に、汽 船連絡列車が東京駅か らここまで乗り入れ、氷 川丸などの客船に接続 していた。人々からは、 岸壁列車と呼ばれ親し まれていた。



5 横浜税関遺構 鉄軌道及び 転車台ほか(象の鼻パーク)

こは横浜港発祥の地である。港の荷 役に使われた鉄軌道と転車台、関東大 震災で沈んだ石積など、歴史を語る遺 構がある。明治初期に活躍した実業家・ 原善三郎、横浜港築造に携わったイギ リス人H・S・パーマーなど、「みなとを 造った偉人たち」 の業績を紹介する 標柱サインは、日が暮れると美しい照





8 旧横浜正金銀行本店本館

1904(明治37)年に建設され、明治 時代の産業経済の発展に貢献した貴 重な建造物であることから、1969 (昭和44)年、国の重要文化財及び国 の史跡に指定された。



● アイスクリーム発祥の地

日本最初のガス灯がとも された。復元したガス灯が 碑の両側に立っている。



● 牛馬飲水槽

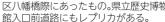
1869(明治2)年、

町田房造が馬車道

に氷水店を出し、日

交通の主力は牛馬 で、道路脇には給 水のための牛馬飲 水槽が設けられて いた。これは磯子









3 ジェラールの瓦とレンガ

ガの製造工場があった。公園プール管理

棟の屋根瓦の一部は、当時のものである。

明治時代、元町公

園周辺には、フラ

ンス人実業家A・

ジェラールが経

営する、日本最初

の西洋瓦とレン

4 代官坂

古くは、箕輪坂と呼

途中に横浜村名主

敷があったことか

ら「代官坂」と呼ば

石川徳右衛門の屋

ばれていたが、坂の 🦹

開港のまち・中区には「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝え る碑が点在しています。このマップ片手に碑巡りしてみませんか。

● 碑など ■ 国具市指定・登録文化財 構造市認定歴史的建造物

❸ ブラフ溝

かつて山手は居 留外国人から ラフ(切り立った 崖)と呼ばれてい た。ブラフ溝は、 1874(明治7)年 から翌年にかけ



て敷設された石造りの道路側溝である。

33 ジェラールの水屋敷地下貯水槽

フランス人実業家A・ ジェラールは、このカ の良質な湧水に着目し て貯水施設を造り、水 をパイプで船舶に送っ て販売する給水業を営 この施設は「水屋

40 シドモア桜

外国人墓地に眠る19世紀

のアメリカ人紀行作家E・

ク河畔への桜の植樹に尽

力した。ポトマック河畔

から里帰りした桜の接木

R·シドモアは、ポトマッ

敷と呼ばれていた。

れるようになった。 ペリーは、上陸時にこの屋敷を訪れた。

4 日本庭球発祥の地 1878 (明治11)年、外 国人専用の公園だっ た山手公園内に5面 のコートが浩られ、日 本で初めて近代テニ スが本格的に行われ

がシドモアの墓前に植えられており、ここの ほか、弁天橋などでも植えられている。

42 日本最初の洋式公園(山手公園) 山手公園は、1870(明治3)年に居留外 国人によって造られた日本初の洋式公 **園。ヒマラヤスギもここに初めて植え** られ、全国に広まった。国の名勝指定で

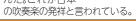


49 日本吹奏楽発祥の地

1869(明治2)年、■ 薩摩藩の青年藩士 約30人が、ここ妙 香寺でイギリス陸 軍軍楽隊長フェン トンから軍楽を学 んだ。これが日本

るようになった。近く

に発祥記念館もある。



🐠 麒麟麦酒開源記念碑

この一帯は天沼と呼ば れ、清水が湧き出て た。1870(明治3)年、 メリカ人技師W ランドは、この地に ル醸造所を設立。日本で 初めて継続的にビ の醸造・販売を行った



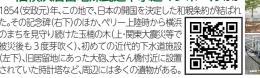
発行:横浜市中区役所区政推進課 令和5年3月 第8版発行(初版 平成23年) 〒231-0021 横浜市中区日本大通35 TEL045-224-8127 FAX045-224-8214

▲『横浜吉田橋ヨリ馬車道之真景』広重(三代)/横浜市中央図書館蔵

四日米和親条約締結の地、玉楠、

旧横浜居留地煉瓦造下水道マンホールほか

のまちを見守り続けた玉楠の木(上・関東大震災等で 被災後も3度芽吹く)、初めての近代的下水道施設 (左下)、旧居留地にあった大砲、大さん橋付近に設置 されていた時計塔など、周辺には多くの遺物がある。





こは、かつて外国 人居留地の一番地 で、イギリス人が設 立した[ジャーデ ン・マセソン商会」の あった場所。「英一 番館」の通称で知ら れていた。



23 ヘボン博士邸跡

開港直後に来日した、アメリカ人宣教医 J·C·ヘボンは、日本初の和英辞典「和英 語林集成」を出版した。

この辞典に使われてい るローマ字表記が「へボ ン式」の元になった。



27 インド水塔ほか (山下公園)

関東大震災のがれきを埋め立てて作られ た山下公園。ここには、震災後の救援活 動に感謝した横浜在住のインド人団体か ら寄贈された「インド水塔」をはじめ、「赤 い靴はいてた女の子 |、「かもめの水兵さ ん」ほか、多くの記念碑・歌碑がある。



22 横浜天主堂跡

1862(文久元)年1月、居留外国人への 布教のため、ここに近代日本初のカトリッ ク教会の聖堂が建てられた。碑には当時 の天主堂のレリーフもある。



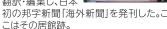
⑤ ラグビー発祥の地

1866(慶応2)年、居留外国人がアジア初 のラグビークラブを山下町で設立。1901 (明治34)年に、国内で日本人初となるラ グビーの試合が、慶應義塾の学生たちに よって行われた。



3 日本における新聞誕生の地

1864(元治元)年、 海外事情を明らか にするために、ジョ ヤフ・ドコ(浜田彦 蔵)が外国新聞を 翻訳・編集し、日本



❷ 横浜の下水道の始まり

1881 (明治14)年以 降、陶管に代わってレ ンガ造りの管が下水 管として使用されるよ うになった。卵型の断 面が特徴で、一部は今 も中華街南門通りで 使われている。

34 ゲーテ座跡

こには、関東大震

災で崩壊するまで

「ゲーテ座」という

西洋劇場があった。

芝居、音楽会などの

催しが行なわれ、居

留外国人の社交場

となっていた。



3 旧フランス領事官邸遺構 1930(昭和5)年に建

てられた2代目領事 官邸の遺構(昭和22 年焼失)。関東大震災 で崩壊したものの、初 代官邸にあった井戸 の水汲み用の風車が 復元されている。



❸ 山手80番館遺跡 構造に唯一現存す る、震災前の外国人

住宅の遺構。明治末 から大正初期に建て られたと思われる。 住宅の間取り図と発 掘された美しいタイ ルが展示されている。



1854年(嘉永7年) 日米和親条約締結 1858年(安政5年) 日米修好通商条約締結 1859年(安政6年) 神奈川(横浜)が長崎、兵庫、新潟、函館とともに開港 1869年(明治2年) 吉田橋が鉄橋になる(鉄橋のはじめ)

